

## 日本版DMO形成・確立計画

## 1. 日本版DMOの組織

申請区分	地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	岐阜県高山市（広域的に飛騨市・大野郡白川村も含め対象）	
所在地	岐阜県高山市	
設立時期	昭和57年12月21日 社団法人飛騨高山観光協会 平成23年2月23日 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会	
職員数	5人	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）	(氏名) 堀 泰 則 (出身組織名) (株)ひだホテルプラザ	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の会長として、地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、様々な取組で成果を挙げている。
各種データの分析・収集等（マーケティング）の責任者（専門人材）	(氏名) 駒屋 義明 「専従」 (出身組織名) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の事務局長として、地域マーケティングについて高い知見と能力を持つ。
観光事業部プロモーション部門の責任者（専門人材）	(氏名) 大洞 幸雄 (出身組織名) 高山市商工会議所	高山商工会議所の参事（役員）として観光分野に限らずプロモーションについて高い知見と能力を持つ。
観光事業部旅行商品の造成・販売の責任者（専門人材）	(氏名) 田中 亮太 「専従」 (出身組織名) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の職員として、国内旅行業務取扱管理者の資格を有し、地域の観光資源に熟知し、プロモーションについても高い知見と能力を持つ。平成29年度中に「旅行業」の届を行い、平成30年度からは、広い市域や周辺の観光地を周遊する着地型旅行商品の造成を積極的に展開していく予定である。
コンベンション事業部	(氏名) 小瀬 光則 「専従」 (出身組織名) 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会	一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会の事務局次長として、高い知見と能力を持ち、協会の事業運営等に手腕を発揮するとともに、コンベンション事業部全体の責任者として幅広く観光客誘致、コンベンション誘致を進めている。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	○高山市役所商工観光部 観光課（国内の誘客対策、マーケティング、統計） 商工課（伝統工芸、物産の販路拡大、中心市街地活性化、情報発信、） ○高山市役所海外戦略部 海外戦略課（海外からの誘客対策、国際交流、マーケティング 海外への職員派遣（海外での直接情報発信、	

(別添) 様式 1

<p>連携する地方公共団体の担当部署名及び役割</p>	<p>収集 イベント等の支援等))</p> <p>○高山市役所企画部          ブランド戦略課 (飛騨高山ブランドイメージの確立、向上)          東京事務所 (中央での情報収集、発信 中央でのイベント実施での支援等)</p> <p>○高山市役所基盤整備部          建設課 (国・県道等の事業調整)          都市整備課 (都市計画、景観保全、公共交通)</p> <p>○高山市役所教育委員会          文化財課 (歴史的町並や歴史文化、伝統文化の保存、ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」、日本遺産「飛騨匠の技・こころ 一木とともに、今に引き継ぐ1300年—」)</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>【行政・民間で作る協議会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山観光客誘致推進協議会 (国内誘客、二次交通アクセスの改善等)</li> <li>・飛騨高山国際誘客協議会 (国際誘客、外国人観光客受け入れの対策等)</li> </ul> <p>【行政・民間が出資、設立する会社】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・株式会社まちづくり飛騨高山 (観光客誘致等による中心市街地の活性化)</li> </ul> <p>【民間業者、組合との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛騨高山旅館ホテル協同組合 (地域での自主的な経済活動促進により、その経済的地位の向上、確立)</li> </ul> <p>【地域の観光協会等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山市観光連絡協議会 (地域の観光協会との連携を図り、誘客等事業を共同で行い、地域経済の活性化を図る。)</li> <li>・(一社) ふるさと体験飛騨高山 (体験型旅行商品の造成やグリーンツーリズムの推進による観光客誘致)</li> <li>・飛騨観光宣伝協議会 (JR高山本線の活性化による観光客誘致の推進 北陸新幹線、東海道新幹線等との連動やアクセス改善)</li> </ul> <p>【伝統文化を守る団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高山祭協賛会 (伝統行事「高山祭」の斎行等への支援による観光客誘致の推進)</li> <li>・高山祭屋台保存会 (国指定有形民俗資料「高山祭屋台」の保存支援等による観光客誘致の推進)</li> <li>・高山市景観町並保存連合会 (古い町並の保存等への支援による観光客誘致の推進)</li> </ul> <p>【県域を越えた団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぶり街道推進協議会 (江戸時代から富山湾から運ばれた飛騨鯉にちなみ、その街道の行政、商工会議所、国道事務所等と連携し観光客誘致の推進)</li> <li>・北陸・飛騨・信州3つ星街道誘客協議会 (ミシュランガイドブックに認定された3つ星地域の行政、民間団体、観光協会等が連携し、観光地のルート共同PRや観光客誘致の推進)</li> <li>・昇竜道プロジェクト (東海地方を中心とした国、県、地方公共団体、民間事業者等が幅広く連携し、互いの観光地域資源等を有機的に結び付け、連携し特に海外からの観光客誘致の推進)</li> </ul> <p>【民間事業者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・濃飛乗合自動車(株) (2次交通)</li> </ul>

(別添) 様式 1

<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(概要)</p> <p>一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会組織に幅広い分野の関係団体の参画を得て構成するとともに、理事会においてもそれらの組織の代表者に参画してもらい、日常的な連絡体制や、実務者レベルとの会議を持つなど、高山市のみならず飛騨地域の全体の地域間連携を図っている。会員は、高山市という枠は設けていない。幅広い会員の参画を押し進めている。</p> <p>① 平成の合併前から高山市全体の活性化のための経済団体組織として観光協会としての組織としては、全国でも早くから法人格を取得し、自立した経済団体として飛騨高山観光のブランドを構築するとともに地域経済の牽引者としても一翼を担ってきている。合併後も飛騨地域の中心都市との観光協会としての責務を果たすべく活動</p> <p>② 特に「連携する事業者名及び役割」に記載のとおり、高山市域のみならず県境を越えた連携を図るとともに、実践的で実務的な計画の中で飛騨地域や岐阜県、富山県、金沢市、松本市等の広域的な観光客誘致に成功している。</p> <p>③ 高山市の様々な組織運営については、イベントの実施や観光客誘致等を実施するためには、基本的には官民一体となった組織作りを行い、行政機関とあらゆる関係団体の関係者等に参加してもらい実践的な組織として立上げ、予算、人的、目的等についてしっかりと合意形成を図り進めている。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>「飛騨高山」の取組みを市民はじめ全国に紹介するとともに、他都市での先進的な取組みを自らも学ぶために「飛騨高山観光大学」と銘打って観光地域づくりの意識啓発や、観光産業参画者等のスキルアップ等を図るためのシンポジウムや分科会等を年一度実施。官民一体となった組織を早くに立上げ平成29年で第34回を数えており、毎年8月に実施。さらに、観光ゼミナールとして市民等を対象とした国内外の著名な講師を招き「外国人観光客誘致特別講演会」を10月に開催し、全市上げての観光産業の意識向上に努めている。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要)</p> <p>観光宣伝及び観光客誘致、観光意識の普及向上と観光客に対する接遇の改善、外国人旅行者の受入体制の整備ほか</p> <p>(定量的な評価)</p> <p>観光客数の増加。特に外国人旅行者の大幅な増加</p>

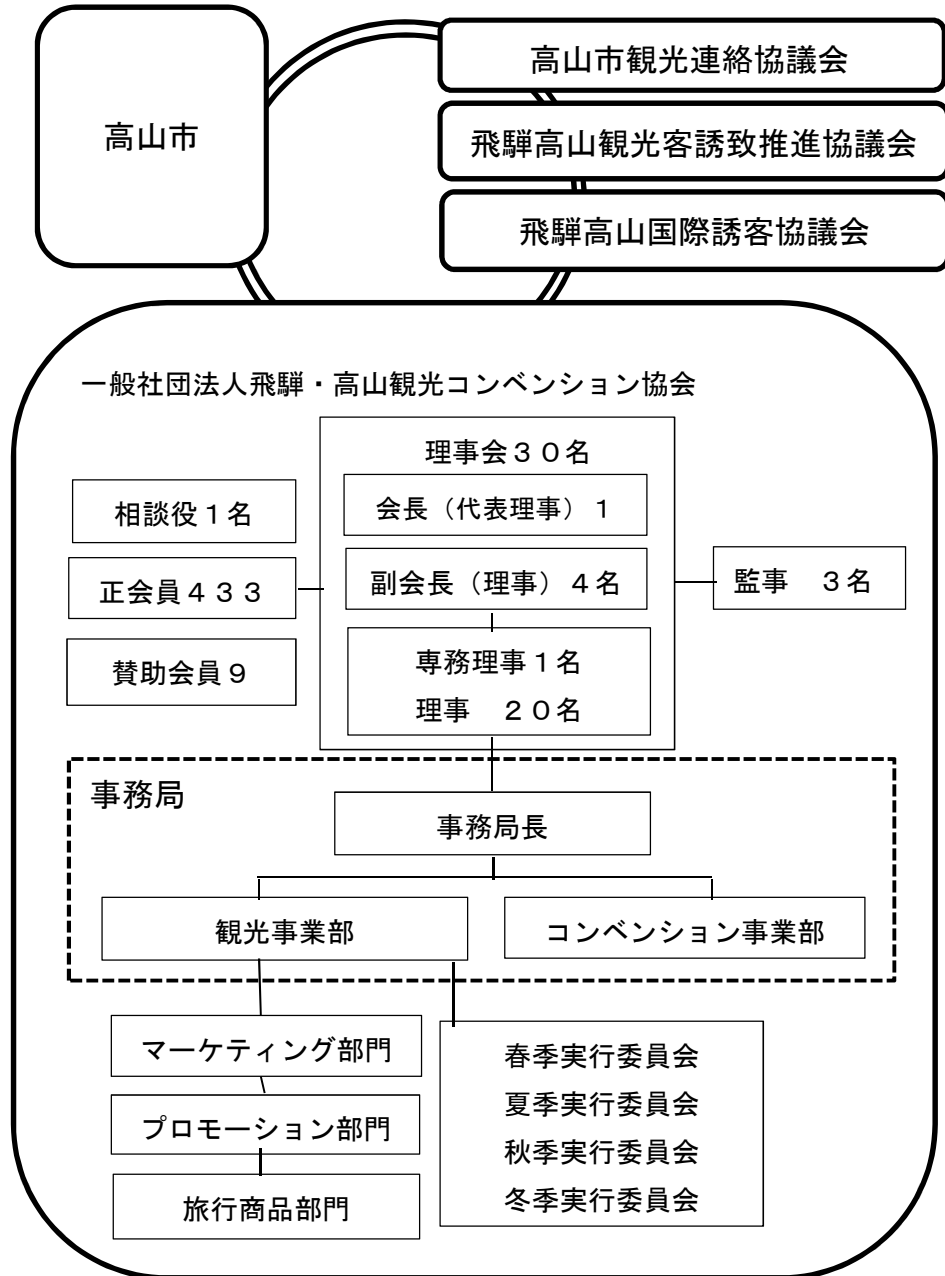
実施体制

実施体制の概要)

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会には、宿泊業者、飲食業者、土産品業者のみならず、行政、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。

また、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会は、市内に10ある観光協会で組織する高山市観光連絡協議会の中心組織として広域連携を実施。

(実施体制図) ① 概略図



② 連携詳細図

別添のとおり

## 2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

平成17年2月に市町村合併した現在の基礎自治体である高山市を一体とした観光地域とする。また、平成16年に合併前それぞれの市町村で活動していた観光協会の連絡協力を目的とした高山市観光連絡協議会を設立し、観光宣伝・イベント事業を展開している。ただし、飛騨地域の広域観光としての視点、実態から飛騨市・大野郡白川村との理解も得、広域的に連携している。

【観光客の実態等】

平成28年度の観光客入込み者数は、対前年比3.92%増の451万1千人

宿泊・日帰り別観光客数は、宿泊者数が219万4千人で日帰り客が231万7千人で、宿泊客数の割合は前年より増え48.64% (前年47.71%)、日帰り客数の割合は減り51.36% (前年52.29%)。

平成27年に引き続き、日帰り客数が宿泊者数を2.72%上回る結果となっている。

平成28年度の外国人観光客数は宿泊ベースで過去最高の46万1千人になり、対前年比26.55%

地域別では、アジアが27万4千人で全体の59.43%、ヨーロッパが9万人で19.54%、北米が2万6千人で5.66%、オセアニアが2万5千人で5.48%、中東が1万1千人で2.44%

(別添) 様式 1

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

春と秋の高山祭（ユネスコ無形文化遺産登録「高山祭の屋台行事」、古い町並（上三之町、下二之町、大新町）、宮川と陣屋前の朝市、高山陣屋（国指定史跡）、高山祭屋台会館、飛騨の里（国指定重要文化財 4棟）、飛騨高山美術館（ミシュランガイドブック3つ星で紹介）、日下部民藝館（国指定重要文化財）、吉島家住宅（国指定重要文化財）

北アルプス（飛騨山脈）、奥飛騨温泉郷（平湯温泉、福地温泉、新平湯温泉、栃尾温泉、新穂高温泉）、乗鞍岳、乗鞍スカイライン、飛騨大鍾乳洞、乗鞍山麓五色ヶ原の森、千光寺（円空仏寺宝館）、宇津江四十八滝（岐阜県立自然公園）、安国寺（国宝）、荒城神社（国指定重要文化財）、清峯寺（円空仏）、荘川の里、荘川桜（岐阜県指定天然記念物）、せせらぎ街道、野麦峠（映画「ああ 野麦峠」の舞台）、スキー場

歴史街道（位山官道、江戸街道、野麦街道、越中街道、ぶり街道）

飛騨の匠の技（飛騨の家具、伝統的工芸品「飛騨春慶」、伝統的工芸品「一位一刀彫」）

…… 日本遺産認定「飛騨匠の技・こころ」～木とともに、いまに引き継ぐ  
1300年～

飛騨の食（宗和流本膳、精進料理、飛騨の地酒、飛騨の漬物、朴葉味噌、飛騨牛、飛騨の高原野菜）

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

	H28.1.1 現在							
	高山市		高山地域		上宝地域		その他地域	
	施設数 (軒)	収容人員 (人)	施設数 (軒)	収容人員 (人)	施設数 (軒)	収容人員 (人)	施設数 (軒)	収容人員 (人)
ホテル ・旅館	51	8,664	15	4,050	30	4,128	6	486
民間 宿泊施設	203	8,403	65	3,571	76	2,488	62	2,344
国民宿舎・ 公共施設	2	54	0	0	1	48	1	6
社会教育 施設	2	487	1	459	0	0	1	28
ユース ホステル	1	60	1	60	0	0	0	0
合計	259	17,668	82	8,140	107	6,664	70	2,864

【利便性：区域までの交通、域内交通】

◎ 関東から

○ 鉄道利用 …… 名古屋経由 4時間10分、 富山経由 4時間

・東京 = (東海道新幹線 1時間50分) = 名古屋 = (高山本線 2時間20分) = 高山  
・東京 = (北陸新幹線 2時間10分) = 富山 = (高山本線 1時間30分) = 高山

○ 自動車利用 …… 4時間20分

・調布 = (中央道 2時間30分) = 松本 = (R158安房トンネル 1時間) =  
平湯温泉 = (R158 50分) = 高山

◎ 関西から

○ 鉄道利用 …… 新幹線 3時間10分、高山直通ワイドビューひだ号 4時間10分

・新大阪 = (東海道新幹線 50分) = 名古屋 = (高山本線 2時間20分) = 高山  
・大阪 = (高山直通 (高山直通ワイドビューひだ号) 大阪、東海道新幹線、高山本線)

(別添) 様式 1

- 自動車 …… 4時間  
・豊中 = (名神2時間) = 一宮JCT = (東海北陸道1時間30分) = 飛騨清見IC = (中部縦貫自動車道20分) = 高山IC = (R41 10分) = 高山
- 高速バス利用 …… 5時間35分  
・大阪なんば・大阪駅前(東梅田) = (1時間30分) = 京都駅前(八条前) = (2時間50分) = 郡上八幡 = (1時間15分) = 高山
- ◎ 名古屋(中部国際空港)から
- 鉄道利用 …… 3時間  
・空港 = (名古屋鉄道 40分) = 名古屋 = (高山本線2時間20分) = 高山
- 自動車利用 …… 3時間  
・空港 = (知多半島道路) = 大高IC(名古屋高速) = 宮IC = (名神高速道) = 宮JC = (東海北陸道) = 飛騨清見IC = (中部縦貫道) = 高山IC = 高山
- 鉄道及び高速バス利用 …… 3時間15分  
・空港 = (名古屋鉄道約40分) = 名鉄名古屋・名鉄バスセンター = (高速バス2時間35分) = 高山
- ◎ 北陸から
- 鉄道利用 …… 1時間30分  
・富山 = (高山本線1時間30分) = 高山
- バス利用 …… 金沢から2時間15分、富山から2時間25分  
・金沢 = (北陸道・東海北陸道1時間15分) = 白川郷 = (東海北陸道1時間) = 高山  
・富山 = (北陸道・東海北陸道1時間25分) = 白川郷 = (東海北陸道1時間) = 高山
- ◎ 地域内交通
- 市街地中心部の観光には徒歩又はレンタサイクル  
【高山駅から徒歩10分】古い町並、宮川朝市・陣屋前朝市、高山陣屋  
【高山駅から徒歩20分】高山祭屋台会館
- 市街地周辺の観光にはコミュニティバス若しくはタクシー  
・まちなみバス(市街地周遊バス) 100円  
・のらマイカー(郊外周遊バス) 100円  
・さるぼぼバス(飛騨の里・飛騨センター周遊バス) 100円  
・まちなみ・さるぼぼ共通1日フリー乗車券 大人620円・小人310円  
・タクシー(車いすでご利用できる福祉タクシー有)
- 奥飛騨温泉郷には路線バス若しくはタクシー  
・路線バス 高山駅前濃飛BC = (1時間) = 平湯BC = (45分) = 新穂高温泉  
・タクシー(観光コースの設定あり)  
・その他の観光地にはタクシー若しくは自動車利用
- 【外国人観光客への対応】
- ビジットジャパン案内所(旧「」案内所)の設置  
JR高山駅前の「飛騨高山観光案内所」が昭和62年11月に「i」案内所に指定。平成24年10月にJNTO認定の外国人観光案内所カテゴリー1に認定、平成25年12月にカテゴリー2の案内所に認定。

(別添) 様式 1

また、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が運営する「中橋観光案内所」も平成26年12月25日に外国人観光案内所カテゴリ2に認定。  
その他に市内にカテゴリ1の案内所が6カ所。

- 外国人観光客等の受け入れマニュアルを作成  
市内の宿泊・飲食関係事業者等に配布、研修の実施
- 外国語パンフレット・DVDの作成
  - ・ パンフレットは、英語(2種類)、韓国語、中国語(繁体字、簡体字)、フランス語、タイ語、スペイン語の6言語(8種類)を作成、配布
  - ・ DVDは、4言語(英語、韓国語、中国語(繁体字、簡体字))したものと、フランス語、台湾用を作成
- 散策マップの作製
  - ・ 日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、韓国語、タイ語、ヘブライ語の11言語で作成
- おもてなし国際化促進事業
  - ・ 外国人観光客を受け入れるため自社パンフレット、看板等の多言語化に対し行政が補助
- 消費税免税制度の活用促進
  - ・ 市内事業者を対象とした消費税免税制度に関する研修会等を開催
  - ・ 免税カウンターの設置 …… 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会において平成29年10月7日(土)から「手続委託型輸出品販売場(免税カウンター)」を設置。取扱い営業を開始
- 無料公衆無線LANの整備
  - ・ 「インターネット接続環境」の提供と「観光・緊急情報等」の発信
- 通訳ガイドの育成・確保
  - ・ まちなかに外国語対応できる観光案内人の配置
  - ・ ボランティア通訳による市民と外国人観光客の交流促進、観光案内のための研修会を実施
  - ・ 中心市街地特例通訳案内士の養成講座を実施
- 観光ホームページの多言語化
  - ・ 平成8年から多言語化。現在、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、タイ語の11言語。また、平成26年にはモバイル版を開発。
  - ・ 英語によるFacebook及び中国語による微博(weibo)での情報発信。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	高山市HPの観光情報サイト、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会、また飛騨高山旅館ホテル協同組合が運営するHPのアクセス状況を分析。また、高



(別添) 様式 1

		<p>山市観光客誘致推進事業補助金を受けて実施しているWEBサイトエリア事業、hidabito.jp事業等におけるアクセス状況の分析等により効果測定を実施。</p> <p>また、平成29年度に「飛騨高山」及び「奥飛騨温泉郷」の状況分析を行うためGAP調査を行う予定。</p>
市民満足度指標	「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合を図るため	行政(高山市)が、5年毎にアンケート調査を実施。
	「外国人で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合を図るため	
観光客入込者数(日帰り、宿泊別)	高山市を訪れる観光客の実態等を把握するため	行政(高山市)が、毎年の観光関連事業者(観光施設、宿泊施設など)からの報告と観光客に対する観光動態アンケートを実施。 ※ この高山市観光動態アンケートの調査結果は、高山市HP「観光統計」として公開。
方面別内訳(宿泊客)		
交通機関の利用状況		
教育旅行の状況		
観光施設別入込状況		
目的別		
来訪回数		
再来訪の意向		
観光客消費額		

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好 影 響	悪 影 響
内 部 環 境	<p>強み (Strengths)</p> <p>○ 自地域で積極的に活用できる強みは何か?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 官民一体となった観光客誘致活動</li> <li>・ 歴史的文化的景観、資源の豊富さ</li> <li>・ おもてなしの心</li> <li>・ ゆたかな自然環境や農山村景観</li> <li>・ 国内有数の国際観光都市</li> <li>・ 国内有数の観光地が周辺にも存在</li> <li>・ 宿泊施設が多い</li> <li>・ ハブ機能の役割</li> </ul>	<p>弱み (Weaknesses)</p> <p>○ 自地域で改善を必要とする弱みは何か?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広大な市域に有する地域資源の磨き上げ</li> <li>・ 地域内の公共交通対策</li> <li>・ 冬期間の観光客誘致</li> <li>・ 山岳観光地の入込の減少</li> </ul>

(別添) 様式 1

外部環境	<p>機会 (Opportunity)</p> <p>○ 自地域にとって追い風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北陸新幹線金沢駅開業</li> <li>・ 北陸新幹線の延伸 (大阪、京都を含む関西方面の周遊ルートの確立が期待できる。)</li> <li>・ JR 東海高山本線への特急新型車両導入</li> <li>・ 東海北陸自動車道路 (高速道路) の四車線化</li> <li>・ 中部縦貫自動車道の整備促進</li> <li>・ 政府による訪日外国人旅行者の受入環境整備の促進</li> <li>・ 国立公園満喫プロジェクト及びこれに準じた国立公園での取組み推進 (中部山岳国立公園活性化への取組み (環境省・岐阜県))</li> <li>・ ミシュラングリーンガイドジャポンへの 3 つ星での掲載</li> <li>・ ユネスコ無形文化遺産登録「高山祭の屋台行事」</li> <li>・ 日本遺産認定「飛騨匠の技・こころ」～木とともに、いまに引き継ぐ 1300 年～</li> </ul>	<p>脅威 (Threat)</p> <p>○ 自地域にとって逆風となる要素は何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空港等からのアクセス</li> <li>・ 国内旅行者の減少</li> <li>・ 国内の宿泊旅行者の減少</li> <li>・ 国民の旅行関連支出の減少</li> <li>・ バス規制によるバスツアーの減少</li> <li>・ 日本社会の少子高齢化の加速</li> <li>・ 地域社会全体の縮小 (すべての項目についての衰退 …… 地域社会の将来への不安)</li> <li>・ 都市部への一極集中化 (もの・金・ひと)</li> <li>・ 労働力人口の減少</li> <li>・ 観光地間の競争</li> </ul>
------	---	---

(2) ターゲット

<p>○第1ターゲット層 外国人観光客 (主に欧米や東アジア)</p>
<p>○選定の理由 人口の4倍近くの外国人観光客が高山を訪れ、高山市に滞在している。</p>
<p>○取組方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある観光エリア・周遊ルートの形成             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金沢市や白川郷、松本市などの周辺観光地との連携</li> </ul> </li> <li>② 海外の社会経済情勢の変化などに対応するために様々な国や地域からの観光客誘致</li> <li>③ 多様化する外国人観光客のニーズに応えられる受入体制の強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民に対する歴史・文化などの郷土教育 (金森公顕彰会・山岡鉄舟翁顕彰会等)</li> </ul> </li> <li>④ 地域に存在する個性的な資源を活用した有機薬活動の実施             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外国人観光客に配慮したサービスの充実</li> <li>・ 消費税免税制度の活用促進、免税カウンターの設置</li> <li>・ 通訳ガイドの育成・確保</li> </ul> </li> <li>⑤ 多言語観光パンフレット・ホームページ等の充実による情報発信の充実</li> <li>⑥ 外国人がひとりで観光できる環境づくり             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夜の待まち歩き、屋台村等の整備</li> </ul> </li> </ol>

(別添) 様式 1

<p>○第2ターゲット層 宿泊客（国内外観光客）</p>
<p>○選定の理由 観光消費額の多い観光客（コンベンション誘致に伴う宿泊者等含む。）は、地域経済に波及する影響が大きい。</p> <p>○取組方針</p> <p>① 地域が提案する魅力ある着地型ツアーの造成</p> <p>② マーケティングの充実による宿泊に繋がる要因の分析と、分析に基づいた地域資源の磨き上げ</p> <p>③地域内外の2次交通の整備</p>
<p>○第3ターゲット層 大学の合宿やゼミ旅行</p>
<p>○選定の理由 若年層が参加する大学の合宿やゼミ旅行は、今後の高山へ再訪するきっかけになると考えられる。</p> <p>○取組方針 長期滞在型や1年を通じて誘致ができる大学等の合宿、ゼミ開催の支援</p>

(3) コンセプト

①コンセプト	「飛騨高山」の魅力が伝わり、多くの観光客でにぎわっている。
②コンセプトの考え方	「飛騨高山」というブランドを確立し、他地域との差別化を図り、多くの観光客により多くの消費がなされ経済的に観光産業をはじめとした地域産業の活性化が図られていく。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	<p>一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が中心となり市内の観光関連機関及び事業者と連携し、効果的なタイミング、手法等によりプロモーションを実施。特に当該法人の理事会は、市内の各事業者の組合等の代表者や運輸関係事業者、金融関係、宿泊事業者等の事業者も幅広く参画しており上半期、下半期に1回は、必ず情報交換の場を設け現状分析や、最近の取組み等意見交換等を実施。</p> <p>また、関連の協議会組織等の総会やイベント実行委員会等においても定期的に情報交換を実施。</p>

(別添) 様式 1

観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	来訪者の満足度を上げるため、市内観光関連事業者を対象としたおもてなしをテーマにした観光ゼミの開催。また、市内商工業団体が中心になって取り組む土産品振興推奨制度や行政が実施する「メイドイン飛騨高山」認証制度への参画
一元的な情報発信・プロモーション	JR高山駅前の飛騨高山観光案内所(カテゴリ2指定)と一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会が運営する中橋観光案内所(カテゴリ2指定)の機能強化(ワンストップ窓口等の整備)と、周辺の観光地(行政地域を超えた観光地等含む。)も含めた官民一体となった効果的なプロモーションの実施

**6. KPI (実績・目標)**

(1) 必須KPI		H26	H27	H28	H29	H30	H31	H33	H36
指標項目	単位	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 目標	2018年 目標	2019年 目標	2021年 目標	2024年 目標
●旅行消費額	億円	714 (77)	820 (32.5)	1,000 (58)	755 (94)	760 (100)	790 (110)	800 (120)	890 (138)
●延べ宿泊者数	万人	202 (28)	207.1 (36.4)	219.4 (46.1)	225 (38)	230 (39)	238 (40)	240 (45)	270 (50)
●来訪者満足度	%	98.6 (-)	98 (-)	98 (98)	98 (98)	98 (98)	98 (98)	98 (98)	98 (98)
●リピーター率	%	66.0 (23.5)	70.0 (19.1)	67.6 (18)	70.0 (20.0)	70.0 (20.0)	70.0 (20.0)	70.0 (20.0)	70.0 (20.0)

( ) 数値は、外国人観光客数

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**

日本の社会が少子高齢化、人口及び経済活動の中央一極集中化することを当協会のトップは早くから予測し、それまでどちらかというと行政主導であった観光協会の運営体制について、「民間でできることは民間で」という考えの中で昭和53年に法人化を図り自主、自立の体制を整える中で、「飛騨高山」の観光産業の発展や飛騨高山ブランドの確立に貢献。

年間のイベント実施、観光客の入込数の数値目標等を行政側と一体(官民一体)となって構築し、来訪者へのアンケート調査を継続的に実施しながら「飛騨高山観光」の強み、弱さを分析しつつ、現在の飛騨高山における観光産業発展(経済活動指標)のひとつとしての原動力(牽引数値)となっている。このアンケート調査項目等を充足しつつ現在のサンプル項目としている。

**【設定にあたっての考え方】**

基本的には、高山市第8次総合計画(2015年~2024年)による最終目標年度2024年(平成36年)の目標数値と整合性を持たせたものとしている。既に旅行消費額は、目標額を超えているが、この総合計画における最終年の目標値は変更があるまでこのままとする。達成した実績数値を更に更新するよう努力し、事業等を展開する。

●旅行消費額

年間の観光客数入込の目標数値に近づけるイベントや誘致活動等を実施。旅行消費額についても、観光客からのアンケート調査より平均的な一人当たりの額(宿泊客、日帰り客別に)を算出。そのうえで日帰り客数、宿泊者数に乗じて算出。精度の高い数値と考えており各年次の観光客数入込の目標数値と連動して設定。

(別添) 様式 1

また、この数値をもとに市域全体の対する「経済波及効果総額」も算出。

●延べ宿泊者数

延べ宿泊者数については、各旅館・ホテル・民宿等からの報告により取りまとめている。ただし、調査に協力してもらえない施設、急激に伸びている「民泊」等の数値が把握できない現状にあり、毎年の調査報告より実数は多くなるものと考えている。

この数値も実数をとらえており、精度の高い数値と考えており各年次の観光客数入込の目標数値、他の委託WEB事業(例 リクルートジャランネットでの事業)の分析等と連動して設定。

●来訪者満足度

「来訪者満足度」についても、観光客からのアンケート調査【4項目(宿泊施設・乗り物・土産品・観光施設)9細目】により印象を記入してもらい、平均的な数値を算出。過去のデータを踏まえる中で、日頃の努力の甲斐あって高い満足率維持しており、今後の数値目標も「飛騨高山観光」のイメージアップを更に図るための目標値として継続的に高い位置に於き各種事業を展開する原動力として設定。

●リピーター率

「リピーター率」についても、観光客からのアンケート調査(サンプル項目:来訪回数)により記入してもらい、平均的な傾向の数値を算出。過去のデータを踏まえる中で、日頃観光客誘致や道路交通網整備等に対する要望の基礎通知等として活用。

外国人観光客の数値については、今後個人旅行客、家族旅行客が増加する傾向にあるため、また、東京オリンピックも控え、その後も期待度も込めた目標数値としている。

(2) その他の目標 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H33 H36

指標項目	単位	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 目標	2018年 目標	2019年 目標	2021年 目標	2024年 目標
●観光客数	万人	403 (28)	434 (36.4)	451.1 (46.1)	433 (38)	450 (39)	452 (40)	480 (45)	500 (50)
●外国人観光客フリーWi-Fi利用者	千	(6.6)	(17.1)	(27)	(23)	(25)	(30)	(40)	(50)
●大学等の合宿・ゼミ旅行	人	573	4,366	4,111	900	930	950	1,100	1,350
●		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

**【検討の経緯】**

長年の観光客に対するアンケート調査、各観光施設・旅館・ホテル・民宿からの宿泊者の報告、高速バス運行や東海北陸自動車道清見ゲート及び中部縦貫自動車道安房トンネルゲートでの車の出入り数等に基づき飛騨高山への観光客の総入込について調査分析し設定。全体の中心目標値になるため多方面からの要素をしっかりと取り入れながら分析。

なお、これらの目標数値は高山市のまちづくり指標の分野別「産業・労働」計画目標として高山市第8次総合計画（2015～2024）に反映されている。この目標数値設定については、市民、各種団体からなる高山市総合計画審議会の中で協議されて高山市全体の政策の柱となっている。

**【設定にあたっての考え方】**

●観光客数

「検討の経緯」で述べた通り飛騨高山への観光客の総入込について調査分析し設定。全体の中心目標値になるため多方面からの要素をしっかりと取り入れながら分析。現在は、高山市第8次総合計画（2015～2024）の最終目標年度2024年（平成36年）における観光客入込者数（年間）500万人を目標に設定。

●外国人観光客フリーWi-Fi利用者

外国人観光客の情報取得のための利便性向上と外国人の国別動向の詳細データを得るため平成26年8月から高山市に於いて設置し運用を開始。この利用者の増加を更に図り、国別の外国人来訪者の動向を正確に把握する中で、海外での誘客のキャンペーン等の行う際の参考とするための分析数値として設定。

●大学等の合宿・ゼミ旅行

日本人観光客の減少が確実視される中で、海外からの訪日外国人の取り込みを図るとともに、国内に於いては、将来観光客と期待される若者、特に学生の取り込みを図ることが「飛騨高山」観光を安定的に維持・発展できる要素として重要であることを考え、目標数値として設定。高山市に於いては、ゼミ合宿に対する補助制度や「飛騨高山大学連携センター」を設立し大学等の合宿・ゼミ旅行の誘致等を積極的に行っている。

**7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し**

## (別添) 様式 1

## (1) 収入

年度	総収入 (円)	内訳
平成28年度	44,867,393円	(1) 会費収入 17,100,000円 (2) 事業収入 3,691,119円 (3) 補助金等収入 (高山市からの補助金) 16,700,000円 (4) 負担金収入 900,000円 (5) 寄附金収入 (民間企業等からの寄附) 383,084円 (6) 受託費収入 (事務受託) 5,110,000円 (7) 雑収入 983,190円
平成29年度	42,953,000円	(1) 会費収入 17,100,000円 (2) 事業収入 3,325,000円 (3) 補助金等収入 15,700,000円 (4) 負担金収入 900,000円 (5) 寄附金収入 0円 (6) 受託費収入 5,110,000円 (7) 雑収入 208,000円
平成30年度	42,953,000円	(1) 会費収入 17,100,000円 (2) 事業収入 3,325,000円 (3) 補助金等収入 15,700,000円 (4) 負担金収入 900,000円 (5) 寄附金収入 0円 (6) 受託費収入 5,110,000円 (7) 雑収入 208,000円
平成31年度	42,953,000円	(1) 会費収入 17,100,000円 (2) 事業収入 3,325,000円 (3) 補助金等収入 15,700,000円 (4) 負担金収入 900,000円 (5) 寄附金収入 0円 (6) 受託費収入 5,110,000円 (7) 雑収入 208,000円

## (2) 支出

年度	総支出	内訳
----	-----	----

(別添) 様式 1

平成28年度 (実績)	43,337,494円	(1) 事業費支出 21,603,716円 ・国内プロモーション等事業費 10,199,115円 ・イベント開催事業費等 9,404,601円 ・バリアフリー観光事業 2,000,000円 (2) 管理費支出 20,833,778円 (3) 投資活動支出 (投資有価証券購入) 900,000円
平成29年度 (見込み)	47,931,000円	(1) 事業費支出 22,379,000円 ・国内プロモーション等事業費 12,433,000円 ・イベント開催事業費等 9,946,000円 (2) 管理費支出 21,362,000円 (3) 投資活動支出 (車両運搬具購入) 4,190,000円
平成30年度 (見込み)	45,941,000円	(1) 事業費支出 22,379,000円 ・国内プロモーション等事業費 12,433,000円 ・イベント開催事業費等 9,946,000円 (2) 管理費支出 21,362,000円 (3) 投資活動支出 200,000円
平成31年度 (見込み)	45,941,000円	(1) 事業費支出 22,379,000円 ・国内プロモーション等事業費 12,433,000円 ・イベント開催事業費等 9,946,000円 (2) 管理費支出 21,362,000円 (3) 投資活動支出 200,000円

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

現状の収入源は、会員の会費収入と行政からの観光事業・コンベンション事業補助金、民間企業からの寄附、他の協議会の事務受託収入などとなっている。高山市からの補助金は、入湯税が財源となっており、今後もこのような運営資金を確保できる見込みである。

なお、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会は、今後も会員の拡大に努めるとともに、刊行物などの物販や事務受託、着地型旅行商品の取扱いも視野に入れた収益事業収入の確保が課題であり、その体制づくりのため現在検討を重ねている。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

岐阜県高山市は、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会を岐阜県高山市における「地域DMO」として登録したいので、一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会とともに申請します。

9. 記入担当者連絡先



(別添) 様式 1

担当者氏名	駒 屋 義 明
担当部署名 (役職)	一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協 t e
所在地	岐阜県高山市本町 1 丁目 2 番地
電話番号 (直通)	0 5 7 7 - 3 6 - 1 0 1 1
FAX 番号	0 5 7 7 - 3 6 - 0 0 9 1
E - m a i l	kankou@hidanet.ne.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	岐阜県高山市
担当者氏名	藤 原 一 也
担当部署名 (役職)	高山市役所商工観光部観光課誘客・宣伝係 係長
所在地	岐阜県高山市花岡町 2 丁目 1 8 番地
電話番号 (直通)	0 5 7 7 - 3 5 - 3 1 4 5
FAX 番号	0 5 7 7 - 3 5 - 3 1 6 7
E - m a i l	Kankou@city.takayama.lg.jp

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名 (役職)	
所在地	
電話番号 (直通)	
FAX 番号	
E - m a i l	

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名 (役職)	
所在地	
電話番号 (直通)	
FAX 番号	
E - m a i l	

一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会観光客誘致等推進体制(地域DMO 30020) (平成28年度の状況)

(伝統文化を守る団体等との連携)

- 高山祭協賛会
- 高山祭屋台保存会
- 高山市景観町並保存連合会

(行政機関等との連携)

- ・高山市 ・岐阜県 ・高山商工会議所 (堀会長 副会頭に就任) ・(一社)岐阜県観光連盟 (※ 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会は、副会長に就任)

(県域を越えた広域連携)

- ぶり街道推進協議会(富山市・飛騨市・高山市・4市の商工会議所・商工会・国土交通省の国道事務所との連携)
- 北陸・飛騨・信州3つ星街道誘客協議会(金沢市・南砺市・白川村・松本市・高山市との連携)  
※ 一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会は、副会長に就任
- 昇龍道プロジェクト(中部圏域との連携)

(行政・民間で作る協議会との連携)

- 飛騨高山観光客誘致推進協議会(国内誘客)
  - ・目的 官民一体となった観光事業を実施し、飛騨高山を広く宣伝し、全国から観光客を誘致
  - ・会長 堀 泰 則 ・参加団体 14団体
  - ・年間予算額 21,100千円
- 飛騨高山国際誘客協議会(国際誘客)
  - ・目的 アジア諸国など世界各国からの観光客を積極的に誘致し、飛騨高山の観光、経済の活性化と文化の向上を図る。
  - ・会長 堀 泰 則 ・参加団体 45団体
  - ・年間予算額 20,000千円

【一般社団法人飛騨・高山観光コンベンション協会】

- ・目的 高山市、飛騨市及び大野郡白川村の観光及びコンベンション事業の振興に取組み、地域経済の活性化、文化の向上、国際的相互理解の促進を図る。
- ・会長 堀 泰 則
- ・会員数 437人・団体
- ・年間予算 43,000千円

(地域連携)

- 高山市観光連絡協議会
  - ・目的 高山市を共同で広く宣伝し、全国、海外からの観光客誘致を図り地域経済の活性化に寄与
  - ・会長 堀 泰 則
  - ・参加団体 高山市内の観光協会10団体
  - ・年間予算 100,700千円

(行政と民間が出資、設立する会社との連携)

- 株式会社 まちづくり飛騨高山
  - ・目的 飛騨高山の有する歴史、文化、伝統などの地域特性を活かし、地域住民に喜ばれ親しまれる中心市街地とともに、観光客をはじめ訪れる人たちにとっても魅力ある活気に溢れたまちづくりの推進を目的とし、「中心市街地活性化に関する法律」の規定に基づく会社として設立
  - ・役員等 代表取締役副社長 堀 泰 則 ・出資 高山市・会議所・金融機関・商店街連合会
  - ・資本金 5,000万円

(民間業者、組合との連携)

- 飛騨高山旅館ホテル協同組合
  - ・目的 本組合は、組合員の相互扶助の精神に基づき、組合員のために必要な協同事業を行い、もって組合員の自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上を図る。
  - ・役員等 相談役理事 堀 泰 則
  - ・参加団体 (組合員数) 64組合員
  - ・年間予算 45,000千円

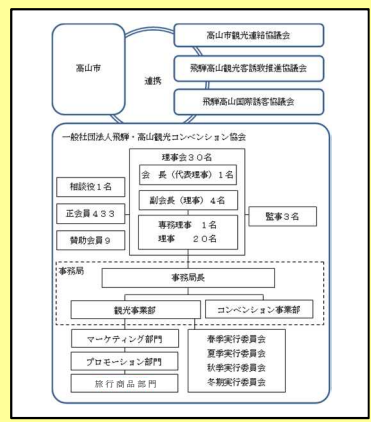
【区域】 岐阜県高山市（広域的に隣接市、飛驒市、大野郡白川村との連携有り）

【設立時期】 昭和57年12月21日 社団法人飛驒高山観光協会発足  
平成23年2月23日 一般社団法人飛驒・高山観光コンベンション協会（一般社団法人化・名称変更）

- 【代表者】 堀 泰則
- ・プロモーション部門責任者 大洞 幸雄
  - ・マーケティング部門責任者 駒屋 義明
  - ・コンベンション事業部責任者 小瀬 光則
  - ・旅行商品造成・販売責任者 田中 亮太

【職員数】 5人  
【連携する主な事業者】 商工会議所、地域商工会、各地域観光協会、観光関連協議会、観光関連事業者の組合、JR東海、バス事業者（濃飛乗合自動車株）、その他会員事業者

（表：実施体制）



（表：KPI(実績・目標)）※( )内は外国人に関するもの

	2014年 実績	2015年 実績	2016年 実績	2017年 目標	2019年 目標
旅行消費額	714 (77)	820 (32.5)	1000 (58)	755 (94)	790 (110)
延べ宿泊者数	202 (28)	207.1 (36.4)	219.4 (46.1)	225 (38)	238 (40)
来訪者満足度	98.6 (-)	98 (-)	98 (98)	98 (98)	98 (98)
リピーター率	66.0 (23.5)	70 (19.1)	67.6 (18)	70 (20)	70 (20)

### 中心市街地

- ・古い町並（伝統的建造物群保存地区）や春と秋の高山祭（ユネスコ無形文化遺産登録）に代表される歴史的文化資源が人気のエリア
- ・奈良時代から続く木工技術、伝統技術が息づくエリア（市街地周辺含む。）
- 日本遺産「飛驒匠の技・こころ～木とともに今に引き継ぐ1300年～」
- ・宿泊施設も充実しており、観光客の滞在拠点としての位置付け
- ・歴史的文化資源の保全・活用
- ・歴史や文化をテーマとしたイベントの開催

### 市街地周辺

- ・農山村が広がり、体験型旅行が人気のエリア
- ・農家民宿が充実しており
- ・農山村の原風景の保全・活用
- ・農林業体験イベント・ツアーの開催



### 奥飛驒温泉郷・乗鞍岳

- ・新潟・富山・長野・岐阜の4県にまたがる北アルプス（飛驒山脈）の麓に広がる山岳公園エリア
- ・奥飛驒温泉郷は100%天然温泉が楽しめる人気のエリア。露天風呂が点在し、宿泊施設も充実している。
- ・乗鞍岳は山岳道路「乗鞍スカイライン」で標高2,702mまでバス、タクシーで訪れることができる人気のエリア
- ・自然景観の保全・活用
- ・温泉めぐり、トレッキングコースの整備（乗鞍山麓 五色ヶ原の森ガイドと巡る滝と森林ツアー等）

### 受入体制の整備

- ・おもてなしの心の醸成（おもてなし文化修得支援事業、おもてなし文化後継者育成事業等）
- ・市民の郷土教育
- ・誰もが安心して一人歩きできるまちづくり
- ・コンベンションやスポーツ大会、ゼミ合宿の開催支援
- ・観光案内機能の充実
- ・飛驒高山観光大学の実施
- ・免税カウンターを設置